



あいさつする
稲本会長

JEAS

「科学保安講習」を開催

人とシステムの連携学ぶ

日本万引防止システム協会（JEAS・稲本義範会長）は11月16日、東京都新宿区内の会場とオンラインで「第3回科学保安講習」を開催した。

同講習はJEASのカメラ画像安全利用推進委員会と保安警備業務を行う警備会社（セフトHD、日本保安、JSSなど）のメンバーで構成する科学保安プロジェクトが立案し2021年にスタートした。

稲本会長は同講習で学ぶ科学保安について「JEASが推奨認定した高水準の顔認証システムを活用し、万引き犯と類似した人物の来店を早期検知して犯行を防ぎます。人とシステムが連携する保安警備を指します」と述べた。

内閣府の個人情報保護委員会事務局の大星光弘企画

官は「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用」と題して、個人情報保護法を順守する運用の留意点を説明した。

JEAS推奨顔認証システム制度の審査に合格したシステム機器を扱うメーカー5社（パナソニックコネクト、日本電気、グローリー、GeoVision、リアルネットワークス）が自社の製品を紹介。

稲本会長は認定個人情報保護団体であるJEASの保護指針と冊子について説明。スーパーマーケットなどで利用が広がるセルフレジで発生する不正対策をJEAS・近江元副会長が解説した。

講習の最後に受講生の理解度を確認する筆記試験を実施した。（瀬戸雅彦）